

安心して住み続けられる浦和区をつくる

有事に対応できる食糧・水・エネルギーの確保を

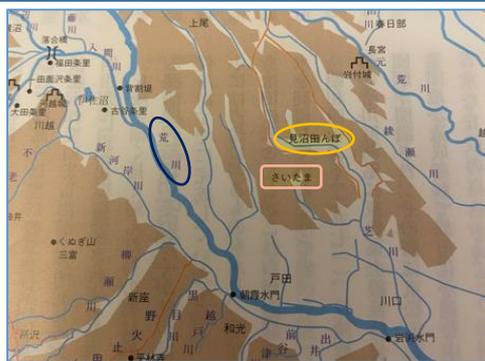
埼玉県の食糧自給率は10%で全国ワースト4位

★現在想定される非常時は**自然災害**だけではありません。ミサイル攻撃に備えた**シェルター**を求める声もでてきました。いずれにせよ、**日頃の備え、避難訓練**がいかに大切かは**防災士**として痛感するところです。

★**食糧自給率の向上や水の確保、またエネルギーの地産**も県民の命を守るため強く求めています。

(食糧自給率：東京0%、大阪1%、神奈川2%、全国37%)

水災害に強いまちに



出典：NPO法人 水のフォルム「水のFORUM」より

★近年、気候変動による豪雨で激甚**水災害**が増え、令和元年東日本台風でも**荒川**に排水できない支流沿川で浸水被害が多発しました。**芝川**でも天端近くまで水位が上がりましたが、越水による破堤を免れました。「**見沼たんぼ**」が土地に降る雨を受入れてくれたからです。

低地の農地、とくに水田は、**農産物生産**の場であると共に、**ヒートアイランド現象の緩和**、多様な**生き物の宝庫**、そして、いざという時は**地域を守る場**にもなってくれます。



私もたんぼ保全活動に参加してきました

主権者教育フォーラム ご報告

昨年12月18日カルタスホールにて「主権者教育フォーラム」を開催しました。中学生、高校生、大学生から80代まで各年代計40名以上の方がご来場くださり、グループディスカッションを行いました。

「あなたなら教育費、どこにかけて欲しい？」

「投票率はどうすれば上がる？」

多世代にわたる意見交換の場は大変貴重で、若い世代からは、自分の意見を持ち、伝え、認められる嬉しさを感じたとの感想、高齢世代からは学生たちが頼もしかったという意見をいただきました。



講師の林大介先生と